

## 若者の視点

## 尚絅大学生によるレポート 35

## 大津町議会（一般質問）オンライン傍聴の感想

さる6月10日～12日に行われた大津町議会一般質問セッションをオンライン傍聴しました。初めて議会をオンライン傍聴した大学1年生の感想を一部ご紹介します。



## 初めての議会オンライン傍聴の感想



打出 滯

私は今回初めて大津町議会をオンラインで傍聴した。実際に議会に行って傍聴するのは緊張感があり、とてもハードルが高そうだが、こうしてオンラインで議会を傍聴することはパソコンやスマートフォンから視聴することができるので、自分の好きな時間に気軽に傍聴できた。また、録画配信を探すのに会議名や議員名、用語から探すことができ、気になった議員さんの質問を約1時間視聴できるのは録画配信のいいところだった。

今回、荒木俊彦議員の一般質問を視聴した。まちづくり基本構想、肥後大津駅周辺と各学校への通学路について質問されていたが、町長、教育長、都市整備部長がその質問に対し真剣に考えていたところがとても印象に残った。学生の通学路にも気にかけて安全に通えるように、また子どもたちの気持ちもよく考えてあげようとし、真剣に向き合っている姿勢は町民からしたらうれしいものと思った。通学路は学生だけではなく、通学路を使って通う学生の親も心配するようなことなので早く解決したほうがいいと思った。

## 全体の感想

初めて議会を傍聴した。テレビなどで流れる国会の議会では、議員の話に対してやじが飛んだりし、荒れているイメージがあった。しかし、大津町の議会は、質問があるときは、挙手して発言したりし、とても秩序ができていたと思った。また、発言の前に資料のページなどが示されており分かりやすかった。内容も簡潔にまとめられていて聞きやすかったと思った。

## 山本議員～飛行機の騒音問題～

この質問を取り上げた理由を述べてから質問しており、分かりやすかったと思った。また、飛行機の騒音問題では、実際に山本議員も外で話しているときにお互いの声が聞こえなかったくらい音が大きかったと説明されており、どのくらい音が大きいのか理解しやすかった。

## 三宮議員～小中学校の熱中症対策～

三宮議員の一般質問では、「資料1を見てください」などと資料番号を明確に示し、説明を行っているところは分かりやすかった。また、三宮議員の質問内容は、議員目線と親目線の両方をうまく取り入れているものであり、地域に寄り添った質問だったと思った。

## 大津町議員との意見交換会

## 島村 愛優 「若者が政治に関心をもってもらうために」

尚絅大学の学生と大津町の議員との意見交換会は毎年開催されていて、学生の視点を得るために意見交換会をしているそうだ。今回の意見交換会では、議員になった理由や、やりがいなどを聞いたり、『おおづまち議会だより OZU』について意見を出したりした。

議員になった理由は、政治に関心な人が多く、関心をもってもらうためという議員がいた。やりがいでは、町民からの感謝や、町民の思いが叶ったときだと述べていた。

『おおづまち議会だより OZU』について、率直な感想や、もっとこうしたほうがいいところについて出し合った。議員が、良いところも良いが、悪いところを教えてほしいと述べた。

このように議員は、若者が政治に関心をもってもらうために、議員になったり、学生の視点や考えを知ったりしていると思った。

**感想** 議員は強いイメージだったが、意見交換会をしてイメージが変わった。お年寄りのために小さいごみ袋を作ろうとしていて、小さいことまで取り組んでいて驚いた。議員が、若者が政治に関心をもつように工夫しているので、私もニュースを見たり、選挙に行ったりしようと思う。

## 山中 萌百果 「意見交換会での分析と感想」

意見交換の話題となった「議員だより」では、議員のこだわりが垣間見えた。文字や写真などの配置や文字の大きさ、フォント、細かいところまで工夫して作成していることが分かった。特に議員が写真や文章を用意している一般質問の欄では、生徒から見た率直な意見を書いて伝えていった。その時も生徒の意見を否定はせずに、普段彼が行っているであろう市民との交流のように話を聞いていたことが印象的であった。用紙に思うままに意見を書いた付箋を貼っていき、若者からの視点として文章やインターネットの活用などを伝えていったのが印象的であった。しかし、紙冊子でのこだわりを持ちすぎているようにも感じられた。現代ではインターネットが普及しており、若者は大抵ニュースを見てもインターネットを活用するであろう。そのため、紙では若者は手にする機会は少ないのではないかなと思った。 今後はインターネットでの情報発信が発達することで若者がより政治に興味を持ちやすくなるのではないかと考えた。

私が思っていた町の議員のイメージは、堅苦しくそれでいて少し無責任さがあるというものであった。しかし実際に交流してみると、イメージとは裏腹に親しみやすく、議員でありながらも町の一員としての自覚をもって仕事に取り組んでいるのだらうと感じた。そのような議員がいることで市民は暮らしやすく、意見も盛んに伝えられる状況にあるだろう。私もこの交流を通して、対応の良い議員のいる町に住んでみたいという気持ちわいたため、どの地域でも意見を持ち伝えられる環境になっていきたいと思います。



## あの質問の行方

過去の一般質問や委員会審査で議員が行った町への提案が、実際にどのように町政に反映されているのかを追跡調査してお知らせします。

## 令和5年12月定例会

町内の中高生によるジュニアリーダー夢議会でも中学校部活動の地域移行に関する質問がされた。令和5年度より地域移行が始まるが町での取り組みは。

今年度中に第1回の検討委員会を開催する予定です。

まずは「段階的な休日の地域移行」を進めてまいりたい。

質問

答弁

## 令和5年12月定例会

子育て支援センターは平成21年開所から床のコンクリートを覆う絨毯や室内遊具の修復交換がされていない。安全性の面で心配である。

親子の居場所、保護者同士の交流の場として安全安心に利用していただけるように修繕等、しっかり対応していきたい。

あれから・・・こうなっています！

## 検討委員会を開催

令和8年度から町内中学校部活動の休日の活動を地域へ移行することを目標とし、町内スポーツ・文化団体、学校関係の代表で構成した「大津町部活動地域移行検討委員会」を5月に開催しました。今後も検討を重ね体制づくりを進めていきます。



## 7月に工事

令和6年7月から床張り替え工事予定です。

